

平成25年度 京都市予算案 事業概要

交通局

事務事業名	市バス・地下鉄中期経営方針の推進(市バス事業)		
予算額	一千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	—
担当課	企画総務部総務課(863-5031), 財務課(863-5080)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>平成22年3月に市会の議決を得て策定した「自動車運送事業経営健全化計画」の3年間の進捗よく状況を踏まえ、平成24年度から27年度までの4年間の事業経営の基本方針と重点取組を明確にした「市バス・地下鉄中期経営方針」を平成24年11月に策定した。</p> <p>平成25年度は、同方針に掲げる、安全対策、お客様サービスの向上、増収増客の取組、コスト削減策を着実に実行し、計画よりも2年前倒して健全化団体から脱却するとともに、計画を上回る一般会計からの任意補助金の削減を行うなど、自立した経営の実現を目指していく。</p> <p>[平成25年度における主な取組]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 お客様増加策 <ol style="list-style-type: none"> (1) 便利でわかりやすい市バス路線・ダイヤの編成と発信 <ol style="list-style-type: none"> ① 公共施設へのアクセス向上や鉄道駅との乗継利便性向上、観光系統の運行充実 ② 26年3月の運転計画に向けた方向幕のリニューアルや案内表示の充実 など (2) バス待ち環境の向上 <ol style="list-style-type: none"> ① 新たな発想によるバス待ち空間「バスの駅」の設置 ② バスロケーションシステムの導入促進 など 2 お客様サービス向上 <ol style="list-style-type: none"> (1) 市バスICカードシステムの導入 (2) 「洛バス」のラッピングリニューアル (3) 定期券のクレジットカード購入対応 3 お客様接遇向上・安全対策 <ol style="list-style-type: none"> (1) 接遇向上・安全対策のための研修充実や事故防止重点強化策の実施 (2) ドライブレコーダーの全車導入 4 コスト削減策 <ol style="list-style-type: none"> (1) 自動車整備業務の委託化推進などによる総人件費の抑制 (2) バス車両の状態を徹底的に点検精査し、更新車両数を抑制 (3) 経常経費を20年度予算比5.7%削減し、計画の目標である5%削減を達成 5 一般会計からの任意補助金の削減 <p>バス車両減価償却費等補助金を休止するなど、任意補助金を計画以上に削減</p> <p>[参 考 (他都市の状況・事業効果など)]</p>			

平成25年度 京都市予算案 事業概要

交 通 局

事務事業名	市バス・地下鉄中期経営方針の推進(地下鉄事業)		
予 算 額	一 千 円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	—
担 当 課	企画総務部総務課(863-5031), 財務課(863-5080)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>平成22年3月に市会の議決を得て策定した「高速鉄道事業経営健全化計画」の3年間の進ちよく状況を踏まえ、平成24年度から27年度までの4年間の事業経営の基本方針と重点取組を明確にした「市バス・地下鉄中期経営方針」を平成24年11月に策定した。</p> <p>平成25年度は、同方針に掲げる、安全対策、お客様サービスの向上、増収増客の取組、コスト削減策を確実に実行するとともに、計画の進ちよく状況を踏まえた一般会計からの必要な支援を確保し、経営健全化を着実に推進していく。</p> <p>[平成25年度における主な取組]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 お客様増加策 <ol style="list-style-type: none"> (1) 「京都市地下鉄5万人増客推進本部」の取組の更なる推進 (2) 駅周辺住宅へのポスティング等のPR活動、沿線施設や大学との連携 2 駅ナカビジネスの積極的展開 (三条京阪駅の店舗設置工事等) 3 お客様サービスの向上 <ol style="list-style-type: none"> (1) <u>丸太町駅トイレのリニューアル</u> (2) <u>定期券のクレジットカード購入対応</u> (3) <u>駅の通信環境の充実 (WiFiスポットの設置)</u> 4 安全対策 <ol style="list-style-type: none"> (1) 烏丸線への可動式ホーム柵設置 (実施設計及び機器製作の着手) (2) <u>北大路駅ホームへの車掌用モニタ設置</u> 5 コスト削減 <ol style="list-style-type: none"> (1) 業務の見直し等による総人件費の抑制 (2) 経常経費を20年度予算比13.2%削減し、計画の目標である13%削減を達成 6 一般会計からの支援 <ol style="list-style-type: none"> (1) 地下鉄駅賑わい創出事業への出資 (2) 国制度に基づく経営健全化対策出資金の確保 (3) <u>高資本費対策補助金(任意補助)の計上見送り</u> <p>[参 考 (他都市の状況・事業効果など)]</p>			

平成25年度 京都市予算案 事業概要

交通局

事務事業名	市バスICカードシステムの導入		
予算額	380,000 千円	新規・継続の別	新規
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	—
担当課	企画総務部総務課(863-5061)		
<p>〔事業実施に至る経過・背景など〕 平成25年3月に全国の鉄道及びバスを1枚のICカードで利用できる「全国相互利用」が開始されることや、国等の補助金制度を活用し、経費節減に努めながら導入できる時期に来たことから、平成26年度中を目途に市バスへのICカードシステムの導入に向けて取り組んでいく。</p> <p>市バスへのICカードシステムを導入することにより、市内にお住まいの方はもとより、全国から京都に来られるお客様の利便性を大きく向上させることができる。</p>			
<p>〔事業概要〕 平成25年度は、市バスへのICカードシステムの導入に向け、システム構築等を行う。</p> <p>1 年次計画 平成25～26年度 システム構築等 平成26年度 市バスでのICカードシステムのサービス開始</p> <p>2 総事業費 16億円（平成25年度、平成26年度）</p>			
<p>〔参考（他都市の状況・事業効果など）〕 本市地下鉄は、平成19年度にICカードシステムを導入している。</p>			

平成25年度 京都市予算案 事業概要

交 通 局

事務事業名	「バスの駅」設置事業		
予 算 額	20,000 千円	新規・継続の別	新規
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	-
担 当 課	自動車部技術課(863-5154)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など] 交通局では、従来から市バスを利用されるお客様に安全・快適にバスをお待ちいただく環境を整えるため、バス停に上屋やベンチ、バス接近表示器（バスロケ）などの様々なバス停施設を道路上に順次設置してきた。 一方、歩道が狭いことにより、ベンチなどのバス停施設を設置することが困難なバス停や、多くのお客様がバスを待たれることによって、歩道に溢れているようなバス停の環境改善が大きな課題となっている。 「バスの駅」設置事業は、歩道に隣接する用地を地域・民間の皆様は無償で提供していただくことにより、バス待ち環境の整備を推進していくものであり、地域・民間の皆様と交通局とが共にバス待ち環境を育んでいくという新たな取組として実施するものである。</p> <p>[事業概要] 地域や民間の御協力をいただき、歩道に隣接する用地や建物の一部を活用して上屋・ベンチ・バスロケ・インターネット環境（Wi-Fi）等を備えたバス待ちスペース「バスの駅」を設置する。 また、「バスの駅」には、土地提供者様との協議により利便施設（自動販売機等）の設置も検討する。 事業初年度にあたる平成25年度については、(株)京都銀行様の御協力により清水道バス停で、また、三菱重工(株)様の御協力により南太秦バス停で「バスの駅」第1号の設置を予定しているほか、地域・民間の皆様に対する協力要請と関係機関との協議を鋭意進め、設置協議が整った箇所から、年間5箇所程度の設置に取り組んでいく。</p> <p>[参 考（他都市の状況・事業効果など）] 新たなバス待ち環境の向上の取組により、更なる増収・増客を図る。</p>			

「バスの駅」イメージ



平成25年度 京都市予算案 事業概要

交通局

事務事業名	地下鉄烏丸線可動式ホーム柵整備事業		
予 算 額	247,000 千円	新規・継続の別	継続
	(うち一般会計出資金 50,000 千円 一般会計補助金 70,000 千円)	政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠
担 当 課	高速鉄道部技術監理課 (863-5216)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>地下鉄烏丸線への可動式ホーム柵の設置は、お客様に地下鉄に安心してご乗車いただく上で有効な方策であるが、烏丸線全駅への設置は事業者の負担があまりにも大きく、具体化できる状況にはなかった。</p> <p>しかし、厳しい経営環境を克服するための経営健全化計画を推進する中で、必要な整備経費を確保するため、種々の手法について検討を重ね、車両改造を伴わない方法で、まずはお客様の利用が多く混雑する京都駅、四条駅、烏丸御池駅の3駅での整備を、国の補助制度を活用し実施することとした。</p> <p>平成24年度には、可動式ホーム柵の設置に向け、基本設計を行っている。</p> <p>※1日平均乗降客数（平成23年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都駅 約107千人 ・四条駅 約87千人 ・烏丸御池駅（烏丸線） 約83千人 <p>[事業概要]</p> <p>1 年次計画</p> <p>平成25年度は、国の事業認証を得て実施設計を行った後、速やかに工事に着手し、平成26年度に烏丸御池駅、平成27年度に四条駅、京都駅で供用を開始する予定である。</p> <p>2 総事業費</p> <p>約9.5億円（平成25年度～平成27年度）</p>			
[参 考（他都市の状況・事業効果など）]			

平成25年度 京都市予算案 事業概要

交 通 局

事務事業名	駅ナカビジネスの積極的展開		
予 算 額	67,000 千円	新規・継続の別	新規
	(うち一般会計出資金 41,000 千円)	政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠
担 当 課	企画総務部営業推進課(863-5068)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など] 駅の魅力と利便性を高めることにより、地下鉄の経営健全化を推進するための収益性向上はもとより、増客及び駅や地域の賑わいを創出するため、これまで積極的に取り組んできた。 平成24年11月に策定した「市バス・地下鉄中期経営方針」で掲げている「第2期駅ナカビジネス展開計画」では、現在3駅(四条駅、烏丸御池駅、京都駅)で展開している「コトチカ」を、新たに山科駅、北大路駅にも整備し、乗降客数上位5駅で展開するなど、更なる拡充の可能性を追求することとしている。また、三条京阪駅や丸太町駅における店舗整備等、その他の駅でも特性に応じた商業利用等を促進する。 これらの取組を積極的に展開することにより、平成30年度の駅ナカビジネス収入額10億円を目指す。</p> <p>[事業概要] 平成25年度は、「地下鉄駅賑わい創出事業」として、東西線三条京阪駅への店舗整備工事や、烏丸線丸太町駅の店舗区画創出に向けた実施設計を行うとともに、新たなコトチカ整備に向けた検討作業を行うなど、「第2期駅ナカビジネス展開計画」の着実な推進を図る。</p> <p>○三条京阪駅構内店舗整備工事(予算額:62,000千円)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 所在地 京都市東山区大橋町地先 2 店舗面積 約77㎡ 3 店舗数 1店舗 4 開業予定 平成25年度内開業 <p>○丸太町駅構内店舗区画創出に向けた実施設計(予算額:5,000千円)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 所在地 京都市中京区大倉町地先 2 開発面積, 店舗数, 開業予定 平成25年度の設計により確定する。 			
[参 考 (他都市の状況・事業効果など)]			